



第2号

くじエネルギー通信

令和5年1月13日発行

～市内への再生可能エネルギー導入に向けて～

本通信は市民の皆様に地域の再生可能エネルギー導入のご理解を深めていただくため情報発信しています。
第1号では、地球温暖化対策には、省エネに加え再エネ導入が求められているとお伝えしました。

第1号ニュースレターはこちらから→



再生可能エネルギー導入に向けたエリア設定



久慈市は2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して、地球温暖化対策を進めていく必要があり、これまで以上に、市内に再生可能エネルギーの導入を図ることを検討しています。

風力発電や太陽光発電事業は、周辺的生活・自然環境に重大な影響を与える可能性があるため、環境に配慮しながら事業を進める必要があります。そのため、市は法令等により定める環境配慮事項や、市民の皆様の声も反映しながら、「再生可能エネルギー導入を促進していくエリア」と「生活・自然環境を保全していくエリア」の設定について検討しています。

検討結果は、再生可能エネルギーゾーニングマップとして整理し、市民の皆様にご理解いただきながら、適性かつ円滑に再生可能エネルギーの導入促進を進めてまいります。

再生可能エネルギーの導入を促進していくエリアは「促進区域」として、地球温暖化の抑制に貢献することになるのね。

だけど、大規模な再エネ施設の導入によって、生活環境や自然環境への影響が高い地域は、「保全区域」にして、久慈市の豊かな環境を維持していくことも必要よね。

だから、ゾーニングマップをつくって、市民の方にご理解いただきながら、再生可能エネルギー導入促進する必要があるのね。



“緑のダイヤ”からクイズだよ!

再生可能エネルギーゾーニングマップの目的として、誤っているものは次のうちどれ?

- ① 「保全区域」を設定し、生活・自然環境を保全すること
- ② いち早く再エネ事業を展開するために、事業実施区域を示すこと
- ③ 「促進区域」「保全区域」を設定し市民へ公表することで、適性かつ円滑に再エネ事業計画を検討すること



こたえは、裏のこのあたり↓



第1回市民向けアンケート調査結果の紹介

市民の皆さまの再生可能エネルギー導入についての認知度・関心度を把握することや、再生可能エネルギーへの期待や気にかかること、不安などを把握することを目的にアンケート調査を行いました。詳細は、第4回協議会資料をご覧ください。

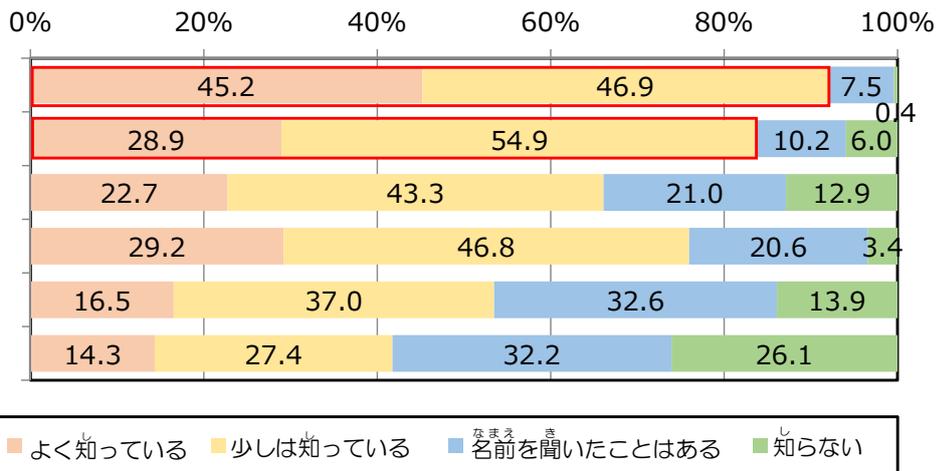
■実施期間：令和4年8月4日(木)～8月29日(月)
 ■対象者：市内にお住まいで無作為抽出された方
 ■実施方法：アンケート用紙 or webによる回答
 ■回収数/配布数：264/1,000 (回収率：26.4%)

風力発電や太陽光発電の認知度は高い結果となったよ。再生可能エネルギーへの期待としては、地球温暖化対策のほか、災害時の電源確保という意見が多かったぞ。

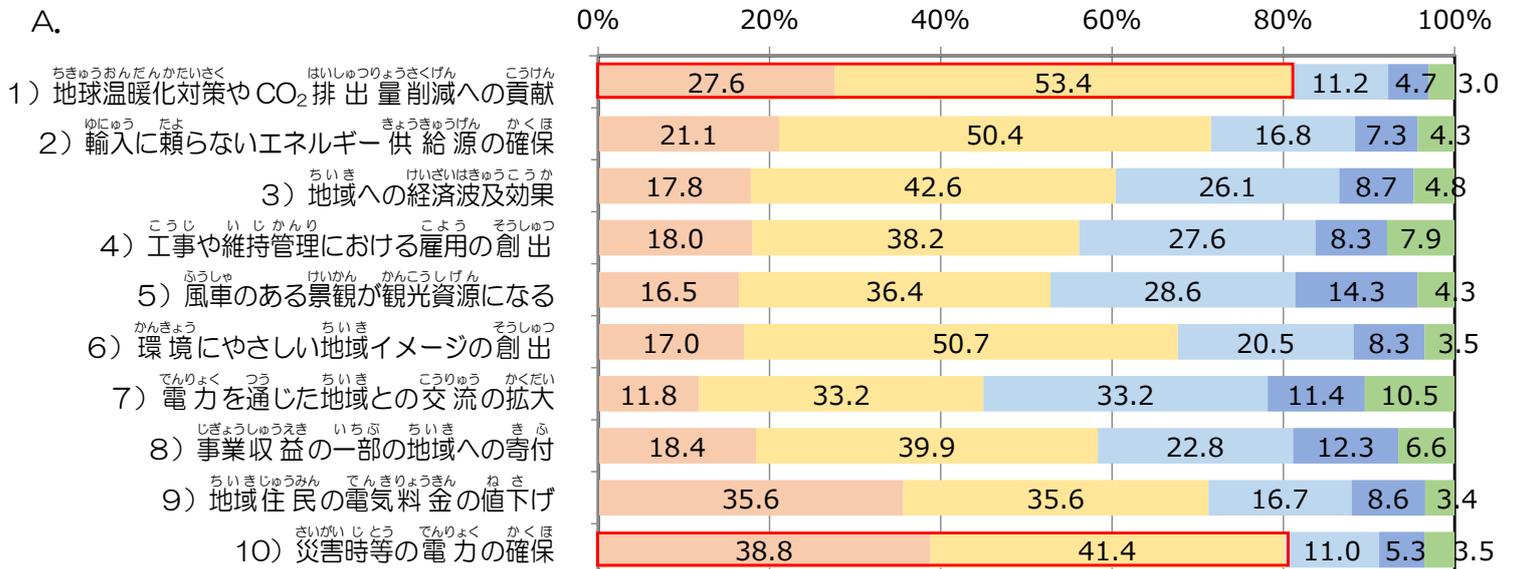


Q. 「再生可能エネルギー」について、

あなたはどれくらい知っていますか？



Q. 陸上風力発電の導入により、あなたが期待することは何ですか？



その他意見

- 再生可能エネルギーを導入し安心・安全な久慈の町になればいい。
- 再生可能エネルギー導入によって人的災害が発生しない、また豊かな自然が壊されないようにしてほしい。

トピック

令和4年度11月9日(水)に「第4回陸域再生可能エネルギーゾーニング協議会」を開催しました。

くわしくは→



クイズの答え：② いち早く再生事業を展開するために、事業実施区域を示すこと

解説：本検討は、明確な事業実施区域を示すものではなく、広域ゾーニングにより、促進区域等を示すものです。

一定規模以上の事業計画は、別途、環境アセスメント調査が実施され、事業実施区域の絞り込みが行われます。

